

岩田 ミツ子さん 満百歳を祝う

12月30日、岩田ミツ子さんが100歳のお誕生日を迎えられました。

岩田さんは、坂野町でお生まれになり、20歳の時に田野町に嫁がれ、3男2女を育てられました。

90歳中ごろまで農業に勤しまれ、とても働き者で、大病を患うこともなく、「親に健康に生んでもらってありがたい」と常日頃感謝されているとのこと。

また、性格は明るく社交的で友だちも多く、老人会では日本舞踊やカラオケを嗜まれ、ゲートボールは地域の代表になる腕前でした。

現在は徳島市の病院で過ごされています。



岩田 ミツ子さん

たぬき像を修繕

12月6日から7日において、本市出身の橋本佐代子さんのご厚意により、小松島ステーションパークのたぬき像が修繕されました。修繕にあたっては、たぬき像の製造者である有限会社ロジェ(富山県)にも、橋本さんからのご依頼のもとご協力いただきました。

12月22日に感謝状を贈呈した際には、橋本さんから「自分が小松島市に住んでいた頃は港町として活気があったが、今は元気がなくなっており、出身地に少しでも恩返しをしたいとの思いで、たぬき像の修繕を提案させていただきました。小松島ステーションパークが多くの人に利用されることになるきっかけになって欲しいです。」とごあいさつをいただきました。

小松島ステーションパークにお寄りの際は、生まれ変わったたぬき像をぜひご覧ください。



左から2人目が
橋本 佐代子さん

クレーン車等の派遣による迅速な 応急復旧を目指して

1月12日、小松島市と徳島県クレーン協同組合が「災害時等におけるクレーンの提供およびその運転者の派遣に関する協定」を締結しました。災害発生時等において、クレーン車や運転手(オペレーター)を派遣し、倒壊、倒木などによる障害の撤去や重機をつかった架橋など迅速な災害復旧への道をつけるための協力をいただきます。当協同組合と協定を結んだのは県内では8件目で、広域での協力体制の構築を進められています。

当協同組合理事長である井貝新吾さんは「災害時にすぐに動ける体制とその備えは事前に整えておく必要があります。我々が県下一円に有する、資材、機材、人材を駆使し、地域の皆様に貢献したいと考えています。」と語られました。



協定締結式の様子

復旧活動に支障のある石材構造物などの 撤去や修復に協力

1月16日、小松島市と一般社団法人日本石材産業協会が「災害発生時における応急対策業務に関する協定」を締結しました。災害発生時、石材を運ぶ特殊な機材や超小型クレーンなどを駆使し、重機では侵入が困難な場所や石材の撤去へのご協力いただきます。また、復旧が進む段階で、文化財である石碑、記念碑、墓石など、存在自体に意味を持つ石材の修復等へもご尽力いただきます。

当協会徳島県支部長である賀川 直さんは「災害の際には、まずは人命が最優先です。しかし、祖先を祀った墓石や記念碑など、人の心の拠り所となる石材の補修や修復は必ず必要になってきます。有事の時に備え、協会でも市内の石材構築物の場所を把握し、自治体を跨いで広範囲に連携をとることができるようにしておきたいと考えています。」と語られました。



協定締結式の様子